

総合内科

■ スタッフ

| | |
|-----|-------|
| 科長 | 岡本 隆二 |
| 副科長 | 田辺 正樹 |

| | | |
|-----|-----|------|
| 医師数 | 常 勤 | 1 名 |
| | 併 任 | 10 名 |
| | 非常勤 | 0 名 |

専門医取得状況

岡本隆二（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本高血圧学会専門医）

田辺正樹（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本超音波学会専門医、日本感染症学会専門医）

杉本和史（日本内科学会認定総合内科専門医、日本消化器学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医）

土肥 薫（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本超音波学会専門医）

山本憲彦（日本内科学会認定総合内科専門医、日本消化器学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医）

石川英二（日本内科学会認定総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析学会専門医）

片山 鑑（日本内科学会認定総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析学会専門医）

藤本直紀（日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会専門医）

村田智博（日本内科学会認定総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析学会専門医）

伊藤貴康（日本内科学会認定総合内科専門医、日本腎臓学会専門医、日本透析学会専門医）

中谷 仁（日本内科学会認定内科医）

■ 診療科の特色・診療対象疾患

臓器別診療にとらわれない、幅広い領域の内科疾患を対象に横断的な診療を行っております。症状や身体所見の原因となっている基礎疾患の診断に苦慮する患者や多臓器にわたる疾患群を有する患者に対しても、必要に応じて内科各分野の専門医のアドバイスを得ながら、質の高い医療を提供することを目指しています。

1. 当科の特色

- 単一の疾患だけを対象とするのではなく、併存する多疾患を全身的な観点からとらえた診療を行っております。
- 確定診断に難渋する患者に対して多くの専門性の高い診療科と連携しつつ診断に導きます。
- 生活習慣病、メタボリック症候群の引き起こす心臓血管疾患や脳血管障害の予防と患者教育を行っております。
- 総合内科を担当する医師の多くは日本内科学会が認定する内科認定医・総合内科専門医の資格を有し、豊富な経験を有しています。
- 必要に応じて入院していただき、適切な検査・治療を行っております。

2. 主な診療対象疾患

- 診断未確定な患者（不明熱、意識障害、検査値異常など）
- 2次性高血圧症（原発性アルドステロン症など）
- 各種感染症
- 膠原病・血管炎などの自己免疫疾患
- 原因不明のむくみ
- 複数の疾患、複数の臓器障害を有する患者
- 生活習慣病、メタボリック症候群
- 睡眠時無呼吸症候群
- 一過性意識消失発作、失神発作 その他

■ 診療体制と実績

外来受診患者数（2018年4月1日～2019年3月31日）：延べ患者数 402 名

入院患者数（2018年4月1日～2019年3月30日）：延べ患者数 63 名

入院患者検討会：毎週木曜日午前 8 時から
入院患者総回診：毎週木曜日午前 10 時から

■ 診療科の治療実績

入院患者の主疾患の内訳
(2018年1月1日～2018年12月31日)

| | |
|-------------|-----|
| 肺炎、気管支炎、胸膜炎 | 2名 |
| 不明熱 | 5名 |
| 腎盂腎炎 | 1名 |
| 膠原病 | 4名 |
| 意識障害 | 1名 |
| 高安病 | 1名 |
| 食思不振、るいそう | 1名 |
| 原発性アルドステロン症 | 30名 |
| 褐色細胞腫 | 1名 |
| 腎動脈狭窄症 | 2名 |
| 睡眠時無呼吸症候群 | 4名 |
| 肺高血圧症、肺塞栓症 | 4名 |
| 狭心症 | 1名 |
| 弓状動脈瘤 | 1名 |
| うっ血性心不全 | 2名 |
| 胸水、腹水精査 | 1名 |
| 浮腫 | 1名 |
| 電解質異常 | 1名 |
| 急性腎不全 | 1名 |
| 慢性腎不全 | 1名 |
| 悪性リンパ腫 | 1名 |
| 縦隔腫瘍 | 1名 |

■ 教育活動の実績

定期的に学生・研究医を対象とした内科全般の幅広いテーマに関する教育セミナー「総合内科セミナー」を開催しています。

第14回総合内科セミナー

2018年5月29日開催

場所：三重大学臨床第2講義室

テーマ：心エコーと腹部エコーをマスターしよう

『心エコーの基本』

講師：三重大学医学部附属病院 循環器内科

杉浦英美喜 先生

『実践!!明日から役立つ腹部エコー』

講師：三重県立総合医療センター 中央放射線科

安本 浩二 先生

ハンズオンセミナー

『エコーを皆でとってみよう!』

第15回総合内科セミナー

2018年11月28日開催

場所：三重大学臨床第2講義室

テーマ：専門医にコンサルトする前に、これだけは押さえておきたい診療ポイント

『検尿の重要性』

講師：三重大学医学部附属病院 腎臓内科

溝口翔子 先生

『循環器内科に急いでコンサルトすべき症例とは？

(それって心臓病ですか)』

講師：三重大学循環器腎臓内科学

栗田泰郎 先生

『まず診て考える消化器疾患』

講師：県立総合医療センター 消化器内科

大矢由美 先生

http://www.medic.mie-u.ac.jp/naikal/training/mm_cseminar.php (ホームページ)

■ 臨床研究等の実績

診断や治療を行った興味深い症例に関しては、積極的に論文化し情報共有を図るよう努めております。

Yellow Nail Syndrome Complicating Coronary Artery Bypass Graft Surgery.

Omori T, Okamoto R, Fujimoto H. et al. Circ J. 2018;25;82:2678-2679.

Echocardiographic Assessment of Cardiac Structural and Functional Abnormalities in Patients With End-Stage Renal Disease Receiving Chronic Hemodialysis.

Matsuo H, Dohi K, Okamoto R, et al. Circ J. 2018;82:586-595.

不明熱の原因として、特発性後天性全身性無汗症と診断できた1例と文献的考察.

坂野翔子、岡本隆二、鈴木康夫ら。日本内科学会雑誌。2018;107:564-570.

Tocilizumab for uncontrollable systemic inflammatory response syndrome complicating adult-onset Still disease: Case report and review of literature.

Masui-Ito A, Okamoto R, Ikejiri K, et al. Medicine (Baltimore). 96(29):e7596, 2017.

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/section/shinryo/sogonaika/>